

患者の皆様へ

2020年9月18日
救急科・集中治療部

現在、救急科・集中治療部では、「小児鈍的肝損傷および脾損傷の自然経過と診療パターンの検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2008年1月1日～2019年12月31日（12年間）の入院治療症例のうち16歳以下の小児で、鈍的外傷にて脾損傷および肝損傷を負われ入院治療を受けられた患者さまの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「小児鈍的肝損傷および脾損傷の自然経過と診療パターンの検討」

2. 研究の意義・目的

小児において、鈍的肝損傷および脾損傷の自然経過と我が国の診療パターンについて記述します。また、各種検査方法・治療方法と治療成績との関連について検討します。

小児の肝脾損傷患者さまにとって、最適な検査・治療方法が何なのかについての国際的な議論に貢献したいと考えています。

3. 研究の方法

すでに治療を終了した方のカルテ情報（診療録）を用いて過去に遡ってデータ（怪我の種類、血液検査、画像検査など）を抽出し収集を行います。

日本外傷学会多施設委員会主導で、研究協力をいただいた施設と共同で日本各地の施設からデータ収集を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学の研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

電子的データ収集（electronic data capture, EDC）という方法でデータを電子記録しま

す。そのデータセンター（亀田総合病院 REDCap system）にデータ等は匿名化したうえで保管します。

6. 研究組織

本研究は以下の体制で実施します。

1. 東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野 久志本成樹
2. 沖縄県立中部病院 外科 桂 守弘
3. 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 福間 真悟
4. 順天堂大学大学院医学研究科 救急災害医学講座 近藤 豊
5. 自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科 安田 英人
6. その他 協力施設

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院救急科・集中治療部

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院救急科・集中治療部

医師 中田 孝明

043（222）7171

研究代表機関 : 沖縄県立中部病院

研究代表者 : 桂守弘